



峡谷に面する露天風呂。ここからもトロッコ電車が見える



上／「天然の生け簀」と呼ばれる富山湾の幸を中心に、富山の名物など少しずついろいろなものが食べられる夕食。左／10の小皿に富山のおいしいものを散りばめた朝食も評判

ホテル黒部
☎0765・62・1331 富山県黒部市宇奈月温泉7
1泊2食付19,950円～(2名1室お一人様あたり)
入浴のみ1,100円 ※受入不可日もあるので要問合せ
火・水曜休
宇奈月温泉駅から徒歩10分
(宿泊者のみ要予約で送迎あり)
Nゲージ部屋・おもちゃの鉄道部屋の料金は2時間の場合、
日帰り2,200円(入浴料込み)、宿泊客は1,100円

黒部峡谷鉄道
☎0765・62・1011 富山県黒部市黒部峡谷口11
11月30日まで運転
宇奈月駅～樺平駅所要1時間18分・1,980円

いろいろな鉄道に出合える
富山の鉄道旅は宇奈月温泉から
首都圏や関西で活躍した電車が走る富山地方鉄道や、国鉄時代の車両が今も走るJRの城端線や氷見線、あいの風とやま鉄道など、路面電車から北陸新幹線まで、新旧さまざまな種類の鉄道に出合える富山県。なかでも異彩を放っているのが、険しいV字谷を縫うように走る、日本でも数少ないナローゲージの黒部峡谷トロッコ電車だ。



富山県をイメージしたジオラマの「Nゲージ部屋」(写真)と、旅館の常設では日本最大級という「おもちゃの鉄道部屋」がある

風呂上がりはテラスで峡谷を渡る風に吹かれつつ、トロッコ電車の撮影もでき、さらに鉄道部屋でNゲージやおもちゃの鉄道を走らせることもまじることができるという、鉄道が好きな人にとっては夢のような旅館だ。ここを拠点に、トロッコ電車はもちろん、富山県の鉄道づくしの旅ににかけてみてはいかがだろうか。



一部の客室からは新山彦橋を渡るトロッコ電車が眺められる



鉄道ファンに愛される宿を目指す

ホテル黒部の中島勝喜社長は、コロナ禍でお客様が書き残した旅日記を読み返し、トロッコ電車や鉄道が好きでこの宿を選んでくれる人が多いことを再認識した。そんなお客様にもっと喜んでもらえるためにはどうすればいいかと思案し、2室の鉄道部屋を作ること決心。おもちゃの鉄道のレイアウト制作で人気の「べたぞう」さんや富山高専鉄道部の学生らをはじめ、たくさんの人に協力してもらい、2022年1月にオープンさせた。

奥鐘橋の先にある人喰岩。通行人を飲み込むように迫る岩が迫力満点



ホテルのテラスからの眺め。トロッコ電車のベスト撮影スポットだ

撮って、見て、聞いて、走らせて、乗って 宇奈月温泉で 鉄道三昧の旅

富山県黒部市

鉄道ファンに愛される宿を目指し、
2022年には鉄道部屋を作ったホテル黒部に泊まり、
トロッコ電車に乗って、黒部峡谷の探訪に出かけた。

文と写真／若井憲



右上／窓がない普通車では風を直に感じられる。右下／途中、駅員さんと車掌さんと手を振り合うのも楽しみ。左／樺平駅から歩いてすぐの奥鐘橋